

平成28年度 前期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 4

千葉県立千葉商業高等学校 全日制の課程 商業・情報システム科

1 期待する生徒像

人物に優れ、本学科を志願する動機及び理由が明確であり、意欲的に高校生活をおくり、学業に熱心に取り組む意志があること。

かつ次のいずれかに該当する生徒。

ア 商業科目の学習に興味・関心を持ち、入学後資格取得等に熱心に取り組む意志があること。

イ 生徒会活動、学校行事、学習活動等、中学校生活全般にわたり意欲的に取り組み、入学後も継続して取り組む意志があること。

ウ スポーツ活動、文化活動において顕著な実績又は能力を有し、入学後も継続してその活動に取り組む意志があること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 自己表現	次のア、イのいずれかを、出願時に志願者が選択 ア プレゼンテーションによる自己表現 日本語による自己表現 1名3分 イ 実技による自己表現 次の部活動実技のうち1つを選択 硬式野球（男）・ソフトボール（女）・サッカー（男） 陸上競技（男女）・ソフトテニス（男女） バスケットボール（男女）・バレーボール（女） バドミントン（男女）・ハンドボール（女） 柔道（男女）・剣道（男女）・吹奏楽（男女）

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
個々の教科の得点	10点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書 イ・エ・オについて加点（上限20点）したものを調査書記載内容の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1により求めた数値で評価する。評価1または未評価の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3か年皆勤である場合は加点する。 欠席が、1つの学年で20日以上、または3年間の合計が40日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○印の数が1個以下の場合、審議の対象とする。

エ 特別活動の記録	生徒会活動で特に優れた内容と認められる記述については加点する。
オ 部活動の記録・特記事項	部活動の記録，その他の活動で特に優れた内容と認められる記述については加点する。 資格取得については，英検準２級以上，漢検準２級以上，商業に関する資格上位級について加点する。
カ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は，総合的に判定する際の参考とする。

(3) 自己表現

自己表現の各評価項目を基に，複数の評価者がそれぞれ評価項目ごとに５段階で評価し，１３０点満点で評価する。

ア プレゼンテーションによる自己表現（日本語による自己表現）

中学校生活で頑張ったこと（生徒会活動，学校行事，学習活動等），商業の学習において興味のあることや入学後の抱負についてなどを発表する。発表後，内容について簡単な質問をする場合がある。

評価項目	評価基準
(ア) プレゼンテーション力	的確で表現力豊かに伝えているか。また明瞭かつ正しい言葉遣いで話しているか。
(イ) 意欲・内容	意欲を持って取り組む姿勢があるか。テーマと自分との関わり，動機，自分が得たもの，今後の展望などについて考察し，しっかりと説明できているか。
(ウ) 態度	基本的な礼儀ができているか。服装頭髪等，身だしなみはしっかりしているか。

イ 実技による自己表現

選択した種目に関する実技検査をする。実技検査後，簡単な質問をする場合がある。

評価項目	評価基準
(ア) 基礎的技術・能力 専門的技術・能力	基礎的・専門的な技術や能力を身に付けているか。
(イ) 意欲	意欲を持って取り組む姿勢があるか。
(ウ) 態度	基本的な礼儀ができているか。服装頭髪等，身だしなみはしっかりしているか。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき、中学校の校長から送付された調査書の審査、学力検査の成績及び本校において実施した自己表現の検査の結果を資料とし、本校の教育を受けるに足る能力、適性等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。

ア 「学力検査の得点」、「調査書の教科の学習の記録（算式1適用後）」の合計得点により順位をつけ、A組、B組の分類をする。

次の(ア)および(イ)の条件を備える者をA組とし、入学許可候補者として内定する。

(ア) 合計得点で順位をつけた時、次の①または②に示すパーセント以内にあること。

- ① 受検者が予定人員以内のときは、受検者数の60%以内
- ② 受検者が予定人員を超えるときは、予定人員の60%以内

(イ) 下記の項目において特に問題となる点がないこと。

- ① 学力検査の個々の教科の得点
- ② 調査書の教科の学習の記録
- ③ 調査書の出欠の記録
- ④ 調査書の行動の記録
- ⑤ 自己表現の評価
- ⑥ その他、調査書の記載内容

イ 上記アでA組に属さない者をB組とする。

B組については、「学力検査の得点」、「調査書の教科の学習の記録（算式1適用後）」、「調査書記載内容の得点」、「自己表現の評価（得点）」の総合計点で順位をつけ、総合的に判定して、選抜のための各資料の内容等に特に問題のない者から入学許可候補者として内定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取り扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、第2日目の検査終了後、別途個人面談を行う。